

## 月経困難症治療の研究に対するご協力をお願い

「研究課題名」

当院における低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬（LEP）治療のアドヒアランス向上に向けた検討

研究対象者は 2018 年 5 月～2023 年 4 月に当院で低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬（LEP）による月経困難症治療を受けられた患者さんです。

月経痛は我慢するものではなく、治療すべき月経困難症という疾患です。この 10 年で月経困難症に対するホルモン治療の選択肢が増えました。LEP はそのうちのひとつで、月経痛の軽減の他にも副効用がある薬剤です。一方で、毎日の内服と定期的な受診が必要なため、薬を中断して辛い状態に戻ってしまう方もいらっしゃいます。適切な治療を持続的に提供するための手がかりとして、当院における LEP 治療の現状について臨床研究を計画しました。本研究の成果を、現在通院中の方や将来の患者さんのために外来診療に生かしたいと考えております。

本研究は診療録から情報を個人が特定できない形で抽出し解析を行う研究であり、研究のために研究対象者の新たな負担は一切ありません。本研究のために研究対象者に連絡することはありません。

研究に携わる者は、個人情報取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守し、研究対象者のプライバシー保護について最善を尽くします。本研究結果が公表される場合にも、個人を特定できる情報を含みません。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用いたしません。

研究協力は任意であり、いつでも同意が撤回できます。不同意や同意撤回により、その後の診療時に不利益な対応を受ける心配は一切ないことをお約束いたします。本研究への協力を望まれない患者さんは、下記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

ご質問等がございましたら、お気軽にお問合せください。

「問い合わせ先」（つくばセントラル病院 産婦人科 柴田衣里）

連絡先電話：029-872-1771